

創作投稿コーナー しょしす

トピック 沖縄旅行のお話し

— テレビに出ちゃいました —

平成27年2月16日(月)、沖縄の浦添市内間に住んでいる次男と私と女房の3人で、プチ観光を楽しみました。その日、私共一行は、浦添市内間の次男の家を出て、最初は嘉数高台(地球儀を形どった展望台)から、住宅密集地にあることで常に話題の「普天間飛行場」を眺めました。その時は、有名なオスプレイの駐機が一機もありませんでした。

次は北中城村へ行き、丁度お昼なので、古民家中村家の近くの食堂で沖縄そばを食し、その後中村家を観ました。そこで偶然にも、NHKの人気番組、「鶴瓶の家族に乾杯」のロケ隊に出会ったのです。今回のゲスト、朝の連続テレビ小説「花子とアン」でブレイクした俳優、鈴木亮平さんの「世界遺産の中城城跡を観たい。」というリクエストで、このロケになったようです。私共がTVに映った時間は、たったの2分間でしたが、実際に取材された時間は10分間で、職業とか、私と女房の馴れ初めとか、今回の旅程は三泊四日ですよという話には、鶴瓶さんがお互い様なので三泊四日が丁度いいとか、嫁さんの沖縄料理はおいしいですかとか、その他、住宅の設計の事等、色々なお話をしました。



古民家、中村家住宅にて

私は、昨年9月中旬に胃癌のため入院し、内視鏡での手術をして、1週間入院しました。退院してから5日目に、今度は脳梗塞を発症し、即入院して、急性期の治療を受け、19日で退院しました。そして、すぐにリハビリ専門病院に入院して、44日間のリハビリで退院しました。今年に入って、再度の胃癌手術を、3月中旬頃受けることになりました。今度は外科手術です。2月中旬に手術前検査があるということで、それまでに、次男家族に会いに、沖縄旅行をすることに決めました。胃の外科手術を受けると、1年間は、思うように食事もできないし、遠くへの旅行等もできなくなると考えたのです。

2月14日~17日の、三泊四日の旅でしたが、沖縄を満喫したのは勿論、思いがけない素晴らしい出会いがあったり、元気な次男家族と触れあえたことで、大変思い出深い旅行になりました。

余談ですが、私は3月の外科手術も無事終了、現在、何でも食べられて、お酒もおいしく飲めるようになることを目指して、精一杯頑張っています。

堀 健市 (S38A)

ステンドグラス

一ノ関 茂夫 (S44E)



紫陽花の灯り

秩父に来る春

ことばのあそび

鈴木 彦之 (S31M)

ことばのあそび
秋田の三文字ことば

ナジギ、コノゲ、マナグ
ゲッチ、ダンコ、ヨロタ、アグド
ガッコ、ネブガ、ドフラ、アンピ
ガンガ、シャボ、マギリ、ドブグ
デドゴ、ミジャ、カマド
ウダデ、ネブデ、マツベ、ヤバチ
キカネ、オガル、ネマル、タガグ
カマス、チヨス、シヨス、ゲツパ
メラシ、ワガゼ、ナガド、バッチ
ビツキ、ハタギ、エベガ、エガタ
ンダダ、ンダバ、ンデネ

写真俳句

三浦 芳暉 (S39K)



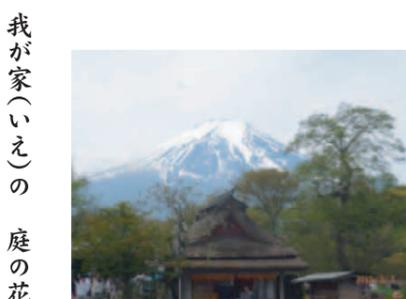
牡丹



みつまた



からたち



忍野八海
望む富士山(やま) 雪帽子



山中湖
飛込む両用 カババスよ

我が家(いえ)の庭の花々 春うらら

◆ 投稿先

随時投稿作品を受け付けます。

- 嵯峨 良平 saga_ryohei@ybb.ne.jp
- 赤間 政志 masashi.akama.rh@hitachi.com

創作投稿コーナー しょしす

写真短歌

王 子雲 (S43E)



降る雪の
わだち歩けば 足とられ
急ぐ先には 孫の笑顔が

写真俳句 2景

三平 俊悦 (S39A)



千年の歴史がある角突き合わせ

いにしえの
牛の角突き 山古志で

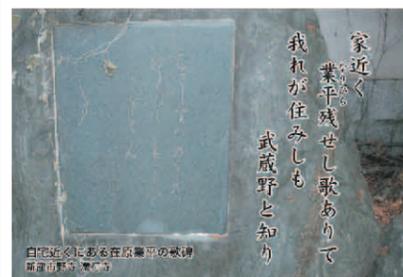


右：八海山

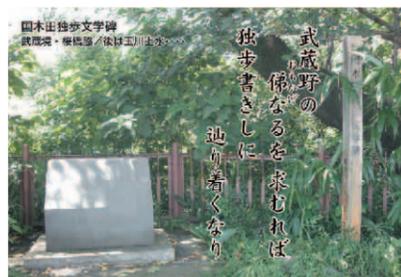
山古志に
望む八海山 春来たり

写真短歌 武蔵野6景

船木 一美 (S48M)



家近く
業平残せし歌ありて
我が住みしも
武蔵野と知り



武蔵野の
佛なるを来れば
独歩書きしに
辿り着くなり



武蔵野は
類い稀なる都市の裾
稀少なりし
景色を懐かし



武蔵野は
雑木林に空趣ありき
守られゆくや
トトロととも



今にある
知急伊豆作りし上水に
心馳するや 古き武蔵野



都下一と
聞く清流は 武蔵野の
合地終み出す
一滴が成す

写真俳句 四季5景

加賀谷 健治 (S36E)



正月

目出度さや
東に初日西に富士



冬・早春

日が差して
雪割り覗くクロッカス



春

春のどか
整列乱して チューリップ



夏

静かさや
プロムナードに 白紫陽花



秋

涼風で
突如咲き出す 曼珠沙華